

令和3年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業計画

1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

2 沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づいて、千葉県知事の設立許可を受けて発足、平成26年4月1日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行。

3 事業活動の基本方針

印旛沼の水質浄化および流域の環境保全を推進するため、印旛沼流域住民の力を結集し、環境保全活動等の活性化と啓発を図る。

4 重点目標

印旛沼および流域内河川等で当環境基金や関係機関によって実施された各種環境調査等の結果をとりまとめ、その成果を活用し印旛沼の環境保全活動の活性化を図る。

また、印旛沼の環境保全に関する印旛沼流域住民の意識高揚のための啓発活動を行うとともに市民による広範な活動を支援する。

5 事業内容

(1) 印旛沼および流域における調査研究（定款第4条第1項第1号関係）

① 水質調査結果および各種環境情報等の収集と取りまとめ（継続）

印旛沼および流域の河川・排水路等で千葉県および流域市町が実施した水質等に関する調査や印旛沼等の環境保全に関わる各種情報（流域市町が対処した環境に関する問題や苦情、助成した事業、環境関連行事、啓発活動など）について取りまとめ、その結果を基金が隔年発行する「印旛沼白書」に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

② 印旛沼の植生等に関する調査（継続事業の組替）

繁茂面積の拡大が懸念される特定外来生物のナガエツルノゲイトウ及び在来オニビシについて、効果的な除去対策の検討等に資するため、継続的に監視が必要と思われる地点を中心に、ドローンを活用し年間を通じた繁茂状況の監視・調査を行う。

(2) 講習・学習会および観察会（定款第4条第1項第2号関係）

① 講習・学習会等への講師派遣（継続）

流域内外の市町、学校および各種団体等が主催（共催）する印旛沼に関する学習会、講演会および講習会等に主催者等の要請に応じ講師を派遣する。

② 観光船による印旛沼観察会（継続：印旛沼水質保全協議会と共催）

印旛沼流域内の住民を対象に、印旛沼に関する理解や知識を深めるため、観光船による沼や周辺の観察と学習会を行う。

- ・対 象：印旛沼流域内の住民
- ・開 催：令和3年7月
- ・募集人数：120名程度
- ・講 師：(公財)印旛沼環境基金研究員

③ 親子で学ぼう印旛沼（継続）

関係市町在住の親子を対象として、印旛沼や水に関する理解や関心を深めるため、観光船による沼や周辺の観察と簡易な水質検査の実習等を行う。

- ・共催市町：八千代市、佐倉市、四街道市、印西市、酒々井町
(日時・募集人員等は、市町ごとに調整し決定する)
- ・対 象：各市町在住の小・中学生及び保護者
- ・開催期間：令和3年5～8月
- ・募集人数：40名程度
- ・講 師：(公財)印旛沼環境基金研究員

④ 印旛沼環境基金公開講座（継続：佐倉市と共催）

流域住民がより一層印旛沼について理解や愛着を深められるよう、以下のとおり3回の講座を行う。

- ・対 象：一般市民
 - ・募集人数：各回100名を予定
 - ・場 所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
 - ・日時、テーマ及び講師
- 第1回 日 時：令和3年11月13日(土) 14:00～15:30
テーマ：遺跡から見た印旛沼と人とのかかわり
講 師：小倉和重 ((公財)印旛郡市文化財センター)
- 第2回 日 時：令和3年11月27日(土) 14:00～15:30
テーマ：印旛沼周辺を拠点とした千葉氏一族の活躍と城郭
講 師：遠山成一 (佐倉市文化財審議委員)
- 第3回 日 時：令和3年12月11日(土) 14:00～15:30
テーマ：特定外来生物カミツキガメの生態や現状・課題
講 師：今津健志 (千葉県生物多様性センター)

(3) 啓発・宣伝（定款第4条第1項第2号関係）

① ホームページの公開（継続）

一般市民や関係団体に対して、インターネットを利用し当環境基金の事業等の紹介や印旛沼および流域の環境保全等に関する情報を発信する。

また、印旛沼への関心を高めることを目的として、沼の様々な様子や出来事をドローン映像とともに随時紹介する。

② 「水辺の風景画コンクール」の開催（継続）

印旛沼流域の小・中学校の児童および生徒が流域内外の湖沼や河川等で見たり、触れたりなどの体験を描いた水辺の風景画を募集・審査し、選考された作品を展示する。さらに、優秀な作品については表彰するとともに、流域市町を巡回展示し広く一般市民の鑑賞に資する。

・日時：展示 令和3年11月2日(火)～7日(日) 9:00～18:00

表彰式 令和3年11月7日(日) 14:30～15:30

(別途、各市町1週間程度被表彰作品を巡回展示)

・場所：公津の杜コミュニティセンター（愛称：もりんぴあこうづ）

市民ギャラリー及び多目的ホール

③ 「印旛沼連携プログラム」サポート企業の登録等（継続）

千葉県「印旛沼連携プログラム」にサポート企業として参加を希望する事業者の登録に関する事務を行う。

④ 刊行物等の編集・発行（継続）

》》 雑誌「印旛沼」第42号

広報誌として以下のとおり発行する。

・発行部数：A4判8ページ 4,000部（委託印刷：毎年）

・発行予定：令和3年8月頃

・配布先：流域市町、県、その他関係機関、一般市民

》》 小学生向け印旛沼環境学習用教材

学習目的や行事内容に応じ、編集し活用する。

・発行予定：随時

・配布先：講習・学習会、観察会、環境関連行事等の参加者

⑤ 刊行物等の頒布（継続）

環境基金が編集・発行した刊行物等を県や市町およびその他の関連機関が開催する環境関連行事等において無料配布（雑誌「印旛沼」、「印旛沼のはなし」など）、または有料頒布（「印旛沼白書」、「印旛沼ー自然と文化ー」など）する。

(4) 環境保全団体等への助成（定款第4条第1項第3号関係）

① 助成金の交付（継続）

印旛沼および流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学および市民団体等の活動を支援するため、助成金を交付する。

② 助成事業成果報告会の開催（継続）

専門家からの助言や他団体からの意見や提案を得て、今後の活動の向上を目指す機会とするため、助成金交付対象団体を一堂に会し助成事業成果報告会を開催する。

- ・ 日 時：令和4年1月
- ・ 場 所：印旛合同庁舎2階大会議室を予定
- ・ 助言者：未 定